

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

胆沢中、躍進の県中総体

7月17日、18日に行われた県中総体において、女子バレーボールが悲願の初優勝、女子ソフトテニスが団体で準優勝、個人で渡邊夏姫 佐藤光ペアが3位となって東北大会への出場権を獲得しました。

また、陸上では1年男子1500mで高橋陽君が1位となるなど、梅雨明け直後の猛暑の中、それぞれに最後まであきらめない、正に胆沢プライドの名に恥じない素晴らしい戦いを見せてくれました。

保護者の皆様の応援も大変力になりました。本当にありがとうございました。

◎女子バレーボール

二回戦	胆沢	2-0	大船渡
準々決勝	胆沢	2-0	小本
準決勝	胆沢	2-1	軽米
決勝	胆沢	2-0	九戸

※石川美里さん 佐々木彩乃さん 高橋優さんが優秀選手賞に輝きました。

◎女子ソフトテニス

団体			
二回戦	胆沢	2-0	千厩
準々決勝	胆沢	2-0	江釣子
準決勝	胆沢	2-0	大船渡第一
決勝	胆沢	1-2	盛岡河南

※悲願達成までもう一歩。東北大会での巻き返しを誓い、次に進みます。

個人

準決勝	渡邊夏姫胆・佐藤光	0-4	田中・藤原 (盛岡河南)
二回戦	菅原望夢・小野寺春佳	0-4	工藤・畠山 (盛岡河南)
三回戦	八島陽菜・氏家華鈴	0-4	橋場・真下 (中野)

◎男子ソフトテニス個人

二回戦	千田奏羽・高橋陽	3-4	亀山・高橋 (見前)
-----	----------	-----	------------

※2年生ながら初戦に勝利し、二回戦ではシードペアに善戦しました。新たな飛躍に大きな期待がふくらみます。

◎女子卓球個人

一回戦	渡辺明希	0-3	野沢風月 (磐井)
-----	------	-----	-----------

◎男子バドミントン団体

一回戦	胆沢	2-0	大原
二回戦	胆沢	0-2	矢沢

◎陸上

男子1年1500m			
第1位	高橋陽	4分40秒36	
男子1年100m			
第2位	瀬谷駿太	12秒28	
男子共通走高跳			
第4位	高橋澄	1m55cm	
男子2,3年1500m			
第7位	石川虎太郎	4分22秒63	

※自己ベストを更新!



※「己に勝つ」以前に、今回はまず暑さに勝つことが必須条件でした。条件は同じとはいえ、外競技には極めて過酷な条件でした。

忘れ物、忘れていませんか?

結構大きなものもあり、自転車の鍵らしきものも届いています。学期末を機に、自分の周辺を整理してみましょう。「あれ?、ない!」と気づくことが出てくるかもしれませんよ。



体育祭いよいよ明後日開催です



心配なのは当日の天気です。幸い現時点では、曇り空で暑さも一段落するという予報が出ているようです。生徒たちは限られて条件の中で、精いっぱい頑張っています。今やコロナも after,with から postへと変わってきています。ポストコロナとは、コロナ禍以降に様変わりした社会のあり様をひとつかみにする言葉です。三密を避ける、手洗いを頻繁にする、マスクを着用する、というようなガイドライン的な対応だけでなく、人と人、人と空間、人と働き方など、様々な場面で暮らし方の質が大きく変容しました。それがポストコロナ社会の核にあるもので、私たちはようやくそのぼやけた輪郭が少し見えはじめたところにいるのではないのでしょうか。

体育祭を区切りに、胆沢中学校は夏休みに入ります。これもポストコロナの潮流として受け止めていかなければなりません。夏休みもポストコロナを十分意識して、安全にお過ごしください。